

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13.5～19.0℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間に出漁日数は少なかった。西彼地区では、カタクチイワシが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の2.7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで前週を上回った（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり46kgの水揚げで、前週の61%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり430kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり63kgの水揚げで、前週の21%（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり22kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ブリなどが1日1統当たり747kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり507kgの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり964kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり245kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり154kgの水揚げで前週の1.6倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり19kgの水揚げ（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/21日～3/25日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚げ休漁となった。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-9号 平成30年度 第2回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報」を長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」に掲載しました。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

漁海況の情報は、「漁海況情報」から「漁海況週報」、「漁海況通信」でご覧いただけます。